

科目番号	科目名	配当年次	授業形態	単位	担当教員
H207	経済統計論 I	2年	講義	2	森寛史
授業概要 経済統計とは何か、データの整理・加工の仕方、そして簡単な経済変数間の関係分析、因果関係の推計法等の初歩的な手法について事例に即して講義をする。データとして国だけでなく、地元栃木県の経済・産業データもとり入れ分析することで、栃木県経済の実態についての理解と関心も深められるように工夫するつもりである。					
到達目標(学習の成果) 経済統計の基本的な考え方を身につけ、ダウンロードした経済データなどを加工してデータの持つ特性について把握できるようにすること、並びに統計分析に必要なエクセルの操作に習熟することを目標とする。生の経済データを加工することで経済実態がよりの確に把握しやすくなることを理解できるようにする。(DP3)					
授業計画					
回	表題	学修内容			
1	経済統計とは何か	多岐にわたるデータの種類について解説する。			
2	データの中心の特性値	中心の特性値として平均、メディアン、モードについて解説する。			
3	データのばらつき特性値について	ばらつきの特性値として標準偏差、分散等について解説。			
4	度数分布について	度数分布としてヒストグラム、ローレンツ曲線等について解説			
5	多変数データの整理	相関の考え方並びに相関係数について解説する。			
6	データの加工の方法、1	代表的な加工統計を取り上げて、加工の方法と意味合いを解説(その1)			
7	データの加工の方法、2	代表的な加工統計を取り上げて、加工の方法と意味合いを解説(その1)			
8	経済変数間の関係分析、回帰の考え方、1	単回帰分析について解説する(その1)。			
9	経済変数間の関係分析、回帰の考え方、2	単回帰分析について解説する(その1)。			
10	経済変数間の関係分析、重回帰の考え方、1	重回帰分析について解説する(その1)。			
11	経済変数間の関係分析、重回帰の考え方、2	重回帰分析について解説する(その2)。			
12	地域経済統計分析、栃木県の概要	これまでの分析手法の復習も兼ねて、栃木県の経済・産業データを使って県経済の理解を深める(その1)。			
13	地域経済統計分析、栃木県経済の特徴について	これまでの分析手法の復習も兼ねて、栃木県の経済・産業データを使って県経済の理解を深める(その2)。			
14	演習による復習、1	これまでの復習並びに補足説明。			
15	演習による復習、2	これまでの復習並びに補足説明。			

準備学修(授業外の自己学修)

パソコンによる計算だけでなく、なるたけ筆算でも行うことで分析手法がわかってくるはずなので、まめに鉛筆を使って計算するようにするとよい。

成績評価の方法・基準(%表記)

期末テスト80%、出席・授業態度20%

観点	S	A	B	C
基本的な経済統計分析の手法、エクセル操作に関する理解	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている
統計分析した結果の解釈の仕方に関する理解	完全に理解できている	ほぼ完全に理解できている	十分に理解できている	一定程度理解できている

教科書

特に指定しない。

参考書等

菊池他『経済系のための情報活用 Excelによる経済統計分析』実教出版

田中勝人『基礎コース 統計学』新世社

『これからはじめる統計学』東京書籍

履修上の注意・学修支援

経済統計についての理解を深めるには、データを使って実際に読み取り、加工、検証しなければならないので、特に出席を重視する。日頃から計算や数式に慣れておくこと。